

## ○令和 5 年度事業計画及び予算

### I 令和 5 年度事業計画

令和 3 年 6 月に閣議決定された「新たな森林・林業基本計画」では、森林を適正に管理し、林業・木材産業の持続性を高めつつ、成長発展させることで、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」も見据えた豊かな社会経済を実現することを目指しています。

森林資源の適切な管理を進める上で、森林に対する病虫害獣害は、これまで大切に育んできた森林を大きく損ね、森林の有する多面的機能の発揮等に支障を及ぼすものです。我が国最大の病虫害被害となっている松くい虫被害及びナラ枯れ被害については、被害対策を重点的に実施するなど、引き続き警戒心をもって対応することが必要とされています。

また、近年、新たな外来昆虫の侵入が確認され、サクラ、ウメ、モモ等バラ科の樹木を加害するクビアカツヤカミキリが、平成 30 年に特定外来生物に指定されたほか、アキニレ、カツラ、トチノキ、ヤナギ類等幅広い樹種の樹木を加害し、世界の侵略的外来種ワースト 100 に挙げられているツヤハダゴマダラカミキリが全国の広い地域で相次いで発見されるとともに、イヌエンジュ、エンジュを加害するサビイロクワカミキリが国内で始めて確認されています。今後これらの外来カミキリムシの生息地が広がること等により森林への被害も懸念されます。

更に、野生鳥獣による森林被害については、被害面積は減少傾向にあるものの、深刻な状況は変わりありません。被害面積の約 7 割を占めるシカ被害は、個体数は近年減少していると推定されますが、分布域は拡大が続いており、植栽木をシカ被害から守る防護対策を講じるなど、積極的な対策が求められています。

これらの被害に対応して、我が国の森林を守っていくためには、病虫害の予防や駆除のための薬剤、鳥獣忌避剤など、林業薬剤を適切に利用していくことも不可欠です。

一方、環境や健康に対する国民の関心の高まりから、林業薬剤についても、より一層、安心・安全な薬剤の開発、実用化が望まれているところです。今後とも安全で効率的な林業薬剤の開発・普及が求められています。

令和 5 年度林野関係予算においても、間伐や再造林等の省力化・低コスト化を進めつつ、適切な森林整備を推進し、健全な森林育成するとされており、加えて花粉発生源対策の推進及び鳥獣被害防止対策の推進が盛り込まれています。

林業薬剤は健全な森林を造成・保全するための有効なコスト対策、森林被害防除対策として位置付けられており、ドローンの活用等と相まって今後、更に効果的な林業薬剤等の開発、普及が期待されているところです。

このような林業薬剤をめぐる諸情勢を踏まえ、新型コロナウイルス感染症による社会・経済の痛手からの回復に期待し、令和5年度事業の執行においては、増収対策及び支出削減努力により、収支改善に努めつつ、主要な開発試験、普及活動、刊行物発行等の各事業部門で会員の連携、情報の共有化、関係機関との連携等を図り、適正かつ効果的な事業の推進に努めることとします。

## 【開発試験部門】

### (1) 開発試験の実施

開発試験申込会員及び国公立試験機関、大学等関係機関、試験実施担当者等と連携するとともに、調査委員会(各部門の部会長)、その他の学識経験者等の指導の下、試験研究実施要領等に基づき適正な試験実施に努め、その結果を取りまとめる。

### (2) 調査委員会での審査

試験成績は本会の調査委員会(「有識者検討会」)において審議・評価し、その概要等を試験申込会員に交付するとともに、会員(維持会員)を対象に報告会を実施する。

## 【普及部門】

### (1) 全体的な取組

「普及研究活動推進要領」に基づき、普及研究会の諸活動等を通じて普及活動の活性化を推進する。

- 1) 林業薬剤の利点、安全性、効果的かつ適正な使用方法等について林業技術者、林業経営者等への理解を深めるため研修会等へ参加、協力する。
- 2) 林業関係の諸会議等に参加し、林業薬剤に対する関連情報の収集、ニーズの把握に努めるとともに、情報の提供・資料の配布等を行う。
- 3) 林業薬剤の使用者等に対して林業薬剤の使用、試験調査等の技術指導を行うほか、部外者からの質問、相談に対応する。  
なお、全体的な取組みとして、特に情報の収集、提供等を推進するためホームページの充実、インターネットの活用に努める。

### (2) 除草剤普及研究会及び病虫害等防除薬剤調査普及研究会の活動

- 1) 講演会、現地研修会、現地検討会を開催することとし、活動実施計画は幹事会で協議する。
- 2) 森林被害状況、林業薬剤に関する情報の収集、調査研究、資料作成及び配布等

を行う。

3)行政関係者等との意見交換等を密に行う。

### 【受託調査事業等】

受託事業等のニーズ把握及び事業募集情報等の収集を通じ、新たな掘り起こし・受託活動に務める。

### 【刊行物発行等】

- (1) 機関誌「林業と薬剤」を年4回発行し、会員及び関係機関への配布、購読者に販売する。
- (2) 「林薬協ニュース」を発行し、会員及び関係機関等に配布する。
- (3) 「緑化木の病害虫一見分け方と防除薬剤」等について、除草剤普及研究会及び病害虫等防除薬剤調査普及研究会で更新した登録薬剤一覧表とセットにして販売する。

## II 令和5年度予算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	差 額
I. 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	2,620,000	2,460,000	160,000
維持会員会費収入	2,400,000	2,240,000	0
賛助会員会費収入	220,000	220,000	0
② 分担金収入	4,415,000	4,190,000	225,000
業務分担金収入	1,875,000	1,750,000	
普及費収入	2,540,000	2,440,000	
③ 事業費収入	8,820,000	5,820,000	3,000,000
委託試験費収入	3,500,000	5,000,000	
受託事業費収入	4,500,000	0	
刊行物収入	820,000	820,000	
④ 雑収入	100,200	100,200	0
受取利息	200	200	
雑収入	100,000	100,000	
⑤ その他収入	0	0	0
事業活動収入 計	15,955,200	12,570,200	3,385,000
2. 事業活動支出			
① 事業費支出	16,036,900	14,904,480	1,132,420
試験費支出	6,820,210	8,854,370	△ 2,034,160
普及費支出	2,138,490	3,140,110	△ 1,001,620
受託事業費支出	4,500,000	0	4,500,000
刊行物発行費支出	2,578,200	2,910,000	△ 331,800
記念事業費支出	0	0	0
② 事務局費支出	2,092,100	4,170,720	△ 2,078,620
役員報酬	451,500	963,900	△ 512,400
給与手当支出	241,200	1,201,200	△ 960,000
退職金支出	0	0	0
法定福利費支出	33,840	205,620	△ 171,780

厚生費支出	7,520	24,000	△ 16,480
旅費支出	30,000	30,000	0
交通費支出	32,000	134,000	△ 102,000
消耗品費支出	38,800	60,000	△ 21,200
印刷費支出	11,820	3,000	8,820
通信費支出	131,600	418,000	△ 286,400
団体賛助費支出	260,000	310,000	△ 50,000
事務所費支出	354,960	355,000	△ 40
光熱水料費支出	41,760	35,000	6,760
諸謝金支出	126,140	126,000	140
会議費支出	200,000	100,000	100,000
公租公課支出	95,200	169,000	△ 73,800
雑費支出	35,760	36,000	△ 240
③ その他の支出	0	0	0
事業活動支出 計	18,129,000	19,075,200	△ 946,200
事業活動収支差額	△ 2,173,800	△ 6,505,000	4,331,200
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入	0	0	0
施設拡充引当資産取崩収入	0	0	
退職引当資産取崩収入	0	0	
リース費用引当資産取崩収入	0	0	
2. 投資活動支出	158,333	217,000	△ 58,667
退職給付引当資産取得支出	158,333	217,000	△ 58,667
投資活動収支差額	△ 158,333	△ 217,000	58,667
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	5,710,168	5,368,623	△ 251,600
予備費	5,710,168	5,368,623	△ 251,600
当期収支差額	△ 8,042,301	△ 12,090,623	
前期繰越収支差額	8,042,301	12,090,623	△ 4,641,467
次期繰越収支差額	0	0	

(注) 借入限度額 0 円

